

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年3月31日(2022.3.31)

【公開番号】特開2021-3440(P2021-3440A)
 【公開日】令和3年1月14日(2021.1.14)
 【年通号数】公開・登録公報2021-002
 【出願番号】特願2019-119485(P2019-119485)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【FI】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和4年3月23日(2022.3.23)

【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

発光手段と、
始動条件の成立を契機に所定の特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて変動演出を制御する演出制御手段と、
前記判定手段の判定結果に基づいて、図柄を変動表示させてから当該判定の判定結果を示す態様で図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、
を備え、
前記演出制御手段は、前記図柄の変動表示とともに演出図柄の変動表示および停止表示を行う図柄表示制御と、前記発光手段を発光させる発光制御と、を行い、
前記変動演出の実行中に、前記特別遊技を実行する期待度を報知する期待度演出を実行可能であり、
前記期待度演出は、
第1の時間実行し、第1の期待度であることを報知する第1期待度演出と、
前記第1の時間よりも長い第2の時間実行し、前記第1の期待度よりも高い第2の期待度であることを報知する第2期待度演出と、
前記第2の時間よりも長い第3の時間実行し、前記第2の期待度よりも高い第3の期待度であることを報知する第3期待度演出と、
を有する、

30

ことを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0005
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0005】

本発明は、上述の課題を解決するためになされたものであり、以下の形態により実現することが可能である。

本発明に係る第1の形態は、発光手段と、始動条件の成立を契機に所定の特別遊技を実行するか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて変動演出を制御す

50

る演出制御手段と、前記判定手段の判定結果に基づいて、図柄を変動表示させてから当該判定の判定結果を示す態様で図柄を停止表示させる図柄表示制御手段と、を備え、前記演出制御手段は、前記図柄の変動表示とともに演出図柄の変動表示および停止表示を行う図柄表示制御と、前記発光手段を発光させる発光制御と、を行い、前記変動演出の実行中に、前記特別遊技を実行する期待度を報知する期待度演出を実行可能であり、前記期待度演出は、第1の時間実行し、第1の期待度であることを報知する第1期待度演出と、前記第1の時間よりも長い第2の時間実行し、前記第1の期待度よりも高い第2の期待度であることを報知する第2期待度演出と、前記第2の時間よりも長い第3の時間実行し、前記第2の期待度よりも高い第3の期待度であることを報知する第3期待度演出と、を有する、遊技機を特徴とする。

10

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0255

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0255】

図34(c)は、プレミアボタン演出を示している。プレミアボタン演出では、上記した「押せ!」に替えて虹色の装飾が施された「押して!」などの他の文言や操作促進画像(プレミア演出ボタン画像80C、有効期間ゲージ画像81)が表示されるとともに、盤ランプ60、枠ランプ61が、ボタン演出対応色である虹色で発光し、演出ボタン8が突出操作位置(突出状態)で虹発光する。

20

なお、プレミア演出ボタン画像80Cは、実際の演出ボタン8の状態(突出状態、虹発光)を模した画像とすることが出来る。

また、大当たり確定を示唆する確定音が音声出力装置34から出力される。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0280

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0280】

当該変動が大当たりであり復活演出を行わない場合、図39(d)で演出ボタン8を操作した結果、図39(e)において大当たり確定を報知する役物(確定ギミック)が作動し、図39(f)において、演出図柄35が大当たり態様で仮停止表示され、図39(g)において演出図柄35が大当たり態様で確定停止される。

30

あるいは、当該変動が大当たりであり復活演出を行う場合、図39(d)で演出ボタン8を操作した結果、図39(h)において大当たり確定を報知する役物(確定ギミック)が作動せず、図39(i)において演出図柄35がハズレ態様で仮停止表示される。その後、図39(e)において確定ギミック)が作動し、図39(f)において、演出図柄35が大当たり態様で仮停止表示され、図39(g)において演出図柄35が大当たり態様で確定停止される。

40

図39(f)では、自キャラクターCH1が敵キャラクターCH2を倒したことを示す「バキッ」などの戦闘音が音声出力装置34から出力される。

50